

学校だより

第2号

神奈川県立伊勢原養護学校
平成29年5月17日発行

新学期を迎えて

副校長 七海 勝浩

今年の春は桜の花が長く咲いていましたが、そんな中、「おはようございます」、「こんにちは」、通学時、ろうかで、バスを降りるとき、様々な場面で子ども達に、あたたかいあいさつをいただきました。ありがとうございます。特に、小学部、中学部の世代と接することが少なかったので、いっしょうけんめいあいさつする姿と、その元気さに感動しました。

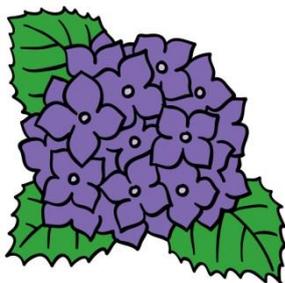


4月に県立大船高等学校から副校長として着任しました。今まで多くの生徒たちの成長と卒業を見守ってきましたが、特に最近、私が力を入れてきたのは、生徒自身の将来を考えるキャリア教育で、重要性を先生方に次のように話をしてきました。

「いままであった職業の消滅と新たな職業の出現や、ITによる情報伝達の高速化、国際化など、企業はかつてない程の変化と生き残りの局面に立たされています。企業研修などで人材を育成していこうという時間的・金銭的余裕がなくなって、生涯にわたり、社員に自ら新しい仕事を学び取り、努力していこうという自主性を求めています。現代の社会に対応した人材を育成してください。」

このような中、共生社会の実現をめざし、社会は引き続き障害者を任用し、数も増えていくことでしょう。また、いろいろな施設においても、外部の方と接する機会が多くなるでしょう。この流れから、本校の卒業生たちも、今まで以上に、自分の個性とは何か、自分に何ができるかを知るキャリア教育の重要性と、周囲の関係者がそのことを理解している状況をつくるネットワークが重要になっていくと考えています。

本校の教育活動を見渡すとどうでしょうか。教材研究において、自主性を育むため視覚的、体験的に学ぶ取ることができるよう、いろいろな手づくりの教材開発を夜遅くまでいっしょうけんめい行っている先生がいます。外へ出て行く多彩な行事において、新たな環境での子ども達の笑顔を思い、きちんと計画どおり実行できるよう準備をしている先生もいます。分教室をはじめとする高い就労率を維持するため、毎日フルスケジュールで連携先と連絡調整し、また、新たな連携先を開拓している先生もいます。



その他、まだまだありますが、本校の教育内容を系統的に人材育成につなげ、誰もが夢を持ち幸せに暮らしていくことができる共生社会の実現をめざし努力していくこと、また、その環境づくりが、私の使命であると考えています。

私自身も、新しい環境での仕事を見つめ、改善できるよう努力していきますので、何か至らない点がございましたらお教えいただきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。



分教室 対面式



4月6日（木）に、伊志田分教室の対面式が行われました。2，3年生との顔合わせということで、若干緊張気味の1年生でしたが、会場となった2年生の教室に入ると、まず目に入ってきたのは、いろいろな色の花紙で飾り付けられた「おめでとう」という大きな文字。これから一緒に学校生活を送っていく1年生を歓迎する気持ちが伝わってきました。

対面式では、2年生の司会のもと、3年生、2年生、1年生の順に自己紹介をしていきました。3年生の自己紹介の際には、伊志田分教室の一年間の行事や活動について、説明してもらいました。体育祭や文化祭など、これまで中学校でも経験したことのある行事から、「職業」や「現場実習」といった初めて体験する活動についての説明を興味深く聞いていた1年生からは、「早く職業の授業をしたい」という声が上がっていました。その後の2年生、1年生の自己紹介では「好きなこと」「得意なこと」「頑張りたいこと」などについて話しました。最後は在校生が校歌を歌い、「よろしくお願ひします」という挨拶で、対面式が終了しました。

次の日には、伊志田高校の生徒との対面式が行われました。体育館には、およそ900人の生徒が私語をすることなく整然と座っており、その人数の多さと雰囲気には圧倒されているのが、伝わってきました。伊志田高校の代表生徒の言葉のあと、分教室代表の3年生の生徒が、分教室の紹介をしました。「楽しい思い出を一緒に作っていけるよう頑張ります。」と落ち着いた声で、立派に大役を果たしてくれました。その言葉通り、6月にある体育祭「宿志祭」に向け、協力して頑張っていきたいと思います。

小学部 新転入生を迎える会

4月11日（火）に、新転入生を迎える会が行われました。小さなピカピカの1年生4名と5年生の転入生1名の友だちが新たに小学部に入ってきました。この日は冬に戻ったような陽気でしたが、児童20名と、職員11名で和やかに楽しいひとときを過ごしました。

新転入生の入場後、一人ひとりの名前と好きなことの紹介がありました。そして、新しく小学部の担任になった4名の職員紹介の後に子どもたちもよく知っている「エビカニクス」のダンスパフォーマンスの披露！手作りの衣装をつけた熱演ぶりに一緒になって体を動かす子どもたち。そして最後に全員でパラシュートバルーンで遊びました。新学期最初の小学部全体の授業でしたが、新転入生の友だちもすっかりうちとけて楽しむことができました。これから1年間、このメンバーで学校生活を十分楽しんでいきたいと思ひますので皆さん、よろしくお願ひします。



中学部 新入生を祝う会

4月12日（水）に、中学部新入生を祝う会が行われました。

2年生・3年生がイス並べを済ませた会場で、みんなが拍手で迎える中、1年生が入場し新入生を祝う会が始まりました。

はじめの挨拶に続いては新入生の自己紹介。それぞれが、大きな名刺（画用紙に自分の名前を入れた物）を上級!

歓迎の言葉や上級生たちの自己紹介の後は、「箱積みゲーム」がスタート。シンプルながら奥深い競技で、学年対抗ともなれば、先生の応援も力が入ります。てきぱきと積み上げる3年生、負けじと頑張る2年生。それぞれの勢いに、1年生も奮戦。各学年とも見応えのある勝負でした。

ダンスリーダーのお手本を見た後、全員で「友よ」を踊り、さらに会は盛り上がりました。

最後は、みんなとタッチしながら1年生が退場し新入生を祝う会は終了。今年もよいスタートを切りました。



高等部 新入生歓迎会

入学を祝ってくれているかのように、桜の花びらが舞い始めた、4月14日（金）に、高等部の新入生歓迎会が行われました。

2年生のはじめのことばでスタートした会は、3年生のテンポの良い曲に移りました。軽やかなダンスを披露して、1年生に明るい雰囲気アピールできたのではないのでしょうか。2年生のダンスも愉快で楽しいもので、1年生を巻き込んでの笑い声が聞こえていました。これに応えるように1年生は1組から、一人ひとりがしっかりとした声で、自己紹介をしてくれました。

作業班は、昨年1年間しっかり勉強した先輩たちが、作業内容を紹介してくれました。続いて運動部の同好会の紹介を見ました。陸上、サッカー、バスケットなど、大会で表彰を受けた同好会もあり、練習も活発です。バスケットでは、シュートの実演があり、みごとにゴールを決め、魅力的な場面も後輩に見せていました。

